
第25回

日本水大賞

2023 日本ストックホルム青少年水大賞

受賞者へお祝いの言葉

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第25回日本水大賞を受賞された皆さま、誠におめでとうございます。

大賞を受賞された「北九州市上下水道局」の皆さまは、発展途上国の上下水道関係者にインフラの構築・運用能力を高めてもらうべく、長年にわたり、活発な国際技術協力に取り組まれてきました。

カンボジアで行われた水道人材育成プロジェクトでは、短期間で水道普及率などが劇的に改善し、「プノンペンの奇跡」と称されるアジアでは数少ない「飲める水道水」を実現されました。

公害問題をはじめ、渇水、浸水などさまざまな困難を乗り越えた貴重な経験に基づくノウハウ・技術を世界に展開することは、水環境を改善する上で重要であり、多くの人々の助けになるものです。

福岡県では、県内のさまざまな地域で川や水に関わる活動をされている方々の連携を深め、さらなる活動の促進を図るため、「ふくおか水もり自慢！」を開催しています。このような中、本県から皆さまが栄えある賞を受賞されましたことは大変喜ばしい限りです。

今回の受賞を機に、皆さまの活動がますます充実、発展していくことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和5年6月13日
福岡県知事 服部 誠太郎

祝 辞

第25回日本水大賞「国土交通大臣賞」を受賞された「久我・久我の杜・羽東師地域まちづくり協議会 防災部会」の皆様に心からお祝い申し上げます。

皆様には、10年以上もの長きにわたり、3つの地域で連携・協働して、マイ防災マップの作成・配布やマイ・タイムライン学習会の実施、小学校での出前授業の開催などを通して、自助・共助の考え方を深く浸透させ、地域全体の防災力向上に大きなご貢献をいただいております。これまでの多くの活動に対しまして、深く敬意を表しますとともに改めまして厚く感謝申し上げます。

本府においても、平成25年台風第18号や平成30年7月豪雨といった想定を超える災害が頻発する中、河川改修やハザードマップの作成など、ハード・ソフト両面での防災対策を進めているところではありますが、災害に強く、安心・安全が実感できる京都府の実現には、皆様の御理解・御協力がなくてはなりません。引き続き、様々な取組を推進いただきますよう心から願っております。

結びに、この度の御受賞を契機とし、皆様の活動が今後益々発展されますことを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和5年6月13日
京都府知事 西脇 隆俊

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第25回日本水大賞の各賞を受賞された皆様に、心からお祝い申し上げます。

環境大臣賞を受賞された「三重県いなべ市教育委員会」の皆様は、絶滅の危機にあった国指定天然記念物ネコギギの復活を目指して、有識者や学校等とのゆるぎない協力の下、飼育増殖、放流、環境改善、環境学習などを10数年間にわたり展開され、生息域の拡大を実現したことが高く評価されました。

文部科学大臣賞を受賞された「三重大学教育学部附属小学校」の皆様は、ドローンやVR映像等の新技術を効果的に活用し、流域治水をテーマにした水防災教育に取り組んでこられました。子どもたちが水防災を身近な問題としてとらえ、興味を持って学ぶことができる先進的な取組が高く評価されました。

市民活動賞を受賞された「22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会」の皆様は、伊勢湾流域から多量のごみが漂着する鳥羽市答志島の奈佐の浜の現状を受けて、三重県にとどまらず伊勢湾流域圏全体を巻き込んだ清掃活動や広報活動に取り組まれており、愛知・岐阜・三重の県民の皆様や全国のさまざまな関係主体との連携を深められています。学生など多くの若者も活躍しており、将来へと続く活動が高く評価されました。

この度の受賞を機に、皆様の活動が今後ますます発展されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和5年6月13日
三重県知事 一見 勝之

祝 辞

北海道富良野高等学校、北海道富川高等学校及び北海道立総合研究機構の皆様、並びに白石航希様が、第25回日本水大賞「厚生労働大臣賞」を受賞されましたことに、心からお祝い申し上げます。

このたびの受賞は、農村地域などのライフラインとして欠かせない小規模水道について、人口減少や高齢化などにより、住民による自立管理の維持が懸念される現状を踏まえ、地域の実情に即した継続的な維持管理を支援する取組として高く評価されたものであり、広域分散という特徴をもつ北海道の地域が抱える課題の解決に寄与する皆様の活動に深く敬意を表します。

また、高校生の皆様は、私たちが生きていく上で大切な、そして、本道の豊かな自然を育む水に着目し、部活動や総合的な探求の時間を通じて、身近な課題に積極的に取り組む姿を大変心強く感じるとともに、こうした活動が、地域に新しい流れをもたらし、持続可能なまちづくりを担う人材育成のモデルとなるものとして大いに期待しています。

今回の受賞を契機として、地域の水を守る皆様の活動がさらに広がるとともに、地域をはじめとした様々な場での皆様のますますのご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和5年6月13日
北海道知事 鈴木 直道

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

「第25回日本水大賞・農林水産大臣賞」を受賞された「柿田川・東富士の地下水を守る連絡会」の皆様にお心からお祝い申し上げます。

今回の受賞は、自然保護団体や企業、林野庁、地元自治体、さらに幅広い世代にわたる住民が参加する官民一体となった植樹活動により、柿田川の湧水量を回復させるなど、森林の水源涵養機能の向上に大きく寄与したことなどが評価されたものであります。

こうした取組は、本県の総合計画に掲げる、森林との共生による持続可能な社会の実現や、健全な水循環の保全に大きな役割を果たすとともに、雨水の流出抑制や土砂の流出防止など、防災の観点においても大変意義深いものです。

静岡県は、本年「東アジア文化都市」に選定され、日本の「文化の顔」、いわば「文化首都」として、本県に日本各地の文化を結集し、国内外に発信すべく多彩な取組を進めています。皆様の活動は、本県独自の多彩な文化を育んだ世界文化遺産富士山や、その山麓に培われた美しい自然、豊かな水の恵みを次世代に受け継ぐ、本県が国内外に誇る貴重な取組であり、改めて敬意を表します。

この度の受賞を機に、「柿田川・東富士の地下水を守る連絡会」の活動がますます発展されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和5年6月13日
静岡県知事 川勝 平太

祝 辞

「第25回日本水大賞」の各賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

経済産業大臣賞を受賞された「東亜グラウト株式会社」の皆様は、管路メンテナンスや地盤改良、斜面防災などの技術を駆使し、安全・安心な社会基盤の整備を行ってまいりました。さらに、水インフラの大切さを広く世間に周知することで、ハード・ソフト両面から水防災に関する活動を継続的に進めておられます。

国際貢献賞を受賞された「特定非営利活動法人 地球の友と歩む会／LIFE」の皆様は、インドネシアの全ての農村地域で安全・安心な水供給を実現するために、工夫を重ねています。今回、日本での事例を参考に、バリ島プダワ村で村民主導型給水事業スキームを構築するなど、具体的な成果へと繋げられました。

皆様の活動がこうした栄えある賞を受賞されたことは、良好な水循環をさらに高め、安全・安心でサステナブルな都市を目指す東京都としても、大変心強く思います。

今回の受賞を契機に、水防災や水資源に関する取組の一層の推進に向けて、益々ご活躍されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和5年6月13日
東京都知事 小池 百合子

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

宮城県農業高等学校の皆様、第25回日本大賞「未来開拓賞」の受賞、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

このたびの受賞は、水田で使用される緩効性肥料のプラスチックが、風化してマイクロプラスチックになることを課題とし、プラスチックカプセルを使用しないウレアホルム肥料を使用することで、海洋汚染やマイクロプラスチック問題といった環境問題解決と、ウレアホルム肥料が従来のプラスチックカプセル肥料と同等の効果があることなどが、高く評価されたものと存じております。

宮城県では、河川や海岸を彩る豊かな自然環境の保護・保全を推進しており、川や海を守る皆様の取り組みを大変心強く感じております。

今回の受賞を機に宮城県農業高等学校の皆様の活動が今後ますます発展することをお祈りしますとともに、皆様のこれまでのご努力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

令和5年6月13日
宮城県知事 村井 嘉浩

祝 辞

第25回日本水大賞「審査部会特別賞」を受賞されました長野県上伊那農業高等学校コミュニティデザイン科グローバルコースの皆さん、誠におめでとうございます。

皆さんは、自然豊かな美しい伊那谷で、伝統的な昆虫食である「ごご虫」に着目し、漁体験や飼育実験にとどまらず、新たな商品開発にも積極的に取り組まれてきました。河川環境への理解を深めつつ、文化の伝承と新たな挑戦に向き合ってきたこれまでの活動が高く評価されたことは、皆さんが先輩方から受け継ぎ積み上げてきた「学び」の成果であり、心から敬意を表します。

長野県では、今年度を初年度とする総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン3.0」がスタートしました。同計画で掲げる地域内経済循環実現プロジェクトでは、「信州型サーキュラーフード」として、栄養価の高い昆虫食に着目しています。

次代を担う若い皆さんが昆虫食文化や水環境保護に関心を持ち、日々学びを深めておられることを心強く感じております。

最後に、「地域課題を自らの問題と捉え、実践する」を目標に掲げグローバルコースで学ぶ皆さんが、これからも「探求心」を育み続け、社会変革の当事者としてますますご活躍されることを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和5年6月13日
長野県知事 阿部 守一

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

「2023日本ストックホルム青少年水大賞」を受賞された「沖縄尚学高等学校BiO₂」の皆様、誠におめでとうございます。

この度の受賞は、マングローブの一種であるメヒルギに注目し、メヒルギが工場排水や生活排水に含まれる銅イオンや亜鉛イオンを蓄積することを利用したバイオレメディエーションに取り組まれたこと、また、世界的に排水処理率が低い地域とマングローブが生息する地域が一致していることを発見し、生態系の循環の仕組みを崩さず自然の力を利用して水質浄化を行う視点などが高く評価されたものであると伺っております。

沖縄県では、SDGsを柱とした「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」を策定し、取組のひとつとして自然環境の保全やエコアイランドの実現を目指し様々な施策を展開しているところであります。

皆様の研究は、このような水環境問題に資するテーマであり、今回の受賞は大変意義のあることと考えております。

今回の受賞を機に、今後皆様の研究がますます深まることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和5年6月13日
沖縄県知事 玉城 デニー